

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔17〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム蔵前					
指定管理者の名称	社会福祉法人東京援護協会	指定期間	H21.4.1 ~ H26.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	老人福祉部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕他					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム2施設、ケアハウス1施設					
(3)経営状況	(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入5,028,276,697円、歳出4,862,964,738円、収支差額165,311,959円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区蔵前2-11-7					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 3,937㎡のうち3,363.41㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階：相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室(機械浴、一般)など					
(6)人員体制	37名 内訳...施設長(1)、事務員(2)、相談員(1)、医師(非常勤4)、介護職員(常勤18、非常勤7)、看護職員(3)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	68,413,000	48,414,000	59,125,846	57,301,950	57,757,830
	料金収入等	195,286,000	216,625,000	213,524,154	222,881,050	224,299,170
	管理経費	263,699,000	265,039,000	272,650,000	280,183,000	282,057,000
決算	委託料	68,413,000	48,414,000	59,073,800	57,295,735	57,689,865
	料金収入等	198,765,502	204,407,466	224,654,189	244,062,203	220,827,428
	管理経費	263,614,382	268,359,514	274,859,018	282,560,818	278,363,326
	収支	3,564,120	-15,538,048	8,868,971	18,797,120	153,967
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
入所定員	人	50	50	50	50	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度	
利用率	%	98.0	98.3	95.7	95.9	
利用者数	人	17,900	17,943	17,457	17,555	

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

利用率の増加に向けて、特養空床型「短期入所生活介護事業所」の開設を検討、準備を進め、平成24年7月に事業を開始した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [3]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [3]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 [3]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)経費縮減のための取組み [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	S	配置基準を上回る職員を配置するなど、サービスの向上に取り組んでおり、適切な事業運営がなされている。また、浅草消防署の自衛消防コンクールにおいて最優秀賞を受賞するなど、災害対策への取組みも万全である。
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃等の建物管理は、適切に行われている。施設の老朽化に伴う修繕等の対応についても迅速に行われている。
(3)利用者の満足度	S	満足度調査の結果は概ね良好であり、入所者の希望に沿った行事を企画するなどのサービス提供に努めている。また、ターミナルケアへの取組みについても家族から高い評価を得ている。
(4)歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されており、経費の縮減も図られている。利用率の改善に向けた取組みとしては、特養空床型短期入所生活介護事業について、平成24年7月からの開始に向けて検討を進めてきた。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好	災害対策への取組みをはじめとして全体的に良好な事業運営がなされており、利用者満足度も高い。今後も引き続き利用率及び収支の改善に向けて、効率的かつ適切な運営を行うとともに、利用者のニーズに応じたサービスを提供していく必要がある。
-----------	---

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

満足度調査では利用者から概ね高い評価を受けており、利用者のニーズに応じたサービスを提供していく取組みが図られている。また、施設の維持管理についても適切に行われている。特養空床型短期入所生活介護事業を活用し、利用率の増加に努めていく必要がある。